

表土をひらいていきます



調査着手前のM区

8月下旬よりはじまった表土掘削の作業は、調査区（M区）の西から東に向けて順調に進んでいます。

主郭（本丸）の南東斜面のM区は過去に行った試掘・発掘調査の調査区に隣接し、その際に確認した石垣などの続きを見つけ出し、小牧山城の縄張り（＝城の平面プラン）を明らかにすることが調査の主な目的です。

注意深く観察すると、調査区の中央付近に2個ほど灰色の石が顔を出しているのがわかります。これらは石垣の一部となる可能性があるかと推定しています。

これからの調査で徐々に表面の土砂が取り除かれ石垣が姿をあらわすことでしょう。こうした推定が正しいかどうか、皆さんが目にする日も近いと思います。どうぞお楽しみに。

小牧山城

は
つ
ぐ
が
わ
ら
片
反

第2号

20120903

小牧山城築城
450

2013年は小牧山城築城450年

発掘ひとくちメモ

～「何故埋め戻すのか」～

これまでに行った発掘調査で確認した石垣はすべて土のうなどで保護してから埋戻しをしています。これは450年という年月を土中で過ごした貴重な石垣が露出することで傷んだり、転落したりすることを防ぐための処置です。発掘調査の終了後、成果を十分検討してから、将来の史跡整備のなかで適切な石垣保存処置と安全対策を実施する予定です。

危険ですので調査区内には立ち入らないでください

小牧市教育委員会